

THE HARE'S GIFT の文学的言語特徴に注目した設問例



県立広島大学人間文化学部国際文化学科准教授 西原 貴之

1. はじめに

英語教科書の中に文学教材が少なくなったということが指摘されて久しい。そんな中で、*New Edition POWWOW ENGLISH COURSE I* の *THE HARE'S GIFT* は英語文学教材について指導できる貴重な機会を提供してくれる。この教材は速読教材として掲載されているが、テキストの本文には英語文学で散見される言語的特徴が多く含まれている。私はこの教材を通して、英語文学の言語的特徴を学習者に意識させたいと思い、高専勤務時代に指導(そして定期試験)のための設問を考えた。ここでは、文学教材の言語的特徴に注目した設問を Part ごとに数例ずつ紹介したい。

2. 設問例

2.1 Part 1

Once, long ago, ^(a)the full moon was looking into the clearing of a forest. A (ア) brown hare was crouching near a rock. Her young had long since left the nest. She nibbled a small piece of bark.

Suddenly, her ears pricked up.

A man stumbled into the clearing. He fell down and lay there on his face.

The hare sniffed the air, then stepped forward.

The man's eyes fastened on the hare.

"You are ill and tired," the hare said.

"I am tired, my friend."

[設問]

(1) 次の英文は桃太郎の冒頭である。()の中に入るべき語を *THE HARE'S GIFT* の本文から抜き出しなさい。

(<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Gaien/7211/momo.html> の文章を利用した)

(), () (), there lived an old man and his

old wife in a village. He went to the mountain to gather woods. She went to the river to wash clothes, when a big peach came floating down the river. (答え: Once, long ago)

(2) 詩人になったつもりで、下線部 (a) を参考にしながら、下線部を主語として次の文を書き換えなさい。There was a rainbow after the rain. (答え: A rainbow looked down upon the pool of rain. など)

(3) 野ウサギの心情を表す形容詞を (ア) に 1 語で入れなさい。また、なぜその形容詞を選んだのか、本文の内容に基づいて日本語で説明しなさい。(答え: lonely, 根拠: 子どもが巣立ってしまって彼女はひとりぼっちだったから)

(4) この物語の場面設定がなされている箇所を指摘しなさい。(答え: 第 1 段落)

[解説]

(1) は昔話でよく用いる表現を問う設問である。このことを意識させるために、別の昔話と抱き合わせた。

(2) は擬人法に関する設問である。生徒が自分の感性を英文の中でどう表現するかに注目したい。

(3) は非明示的な論理関係を読み取る問題である。文学作品では、読者は自分で個々の情報を関係づけなければならない。

(4) は、物語の状況設定が冒頭に来るという典型的物語構造を意識させる設問である。状況設定を日本語でまとめさせてもよいであろう。

2.2 Part 2

The hare hopped very near. "Put your hand in my fur." The man rested his thin hand on the hare's back.

The hare felt ^(b)the man's kindness. But she didn't know that he was really ^(c)the Buddha.

"You have lost your way," she said.

"I have lost my way."

"May I guide you to the edge of the forest?"

"I've no money to pay you," the man said.

The hare bowed. "I don't need any money. ^(a)I just want to () and talk with you."

The man stood slowly. The hare guided the man through the woods to an open plain. All along the way, ^(e)they talked quietly.

【設問】

- (5) 下線部 (b) について、野ウサギはどのようなところからこのことが感じられたのか、具体的に日本語で答えなさい。(答え：野ウサギの背中への手の載せ方から)
- (6) 下線部 (c) に関して、作者はここで初めて "a man" の正体を読者に明かしている。この箇所までこの情報を隠すことによって、どのような効果があると考えられるか、日本語で考えを述べなさい。(答え："a man" とは誰かを読者に色々と推測させることで物語の中に読者を引き込む効果、野ウサギと同じその男の素性が分からない状況に置くことで読者が野ウサギに感情移入しやすくなる効果、など)
- (7) 下線部 (d) の、"I just want to () and talk with you." で、二重下線部と共通した音を持ち、かつ文脈に合う語を () に1語で入れなさい。(答え：walk)
- (8) 下線部 (e) に関して、仏陀と野ウサギはどのような会話をしたと考えられるか、野ウサギの発言、仏陀の発言をそれぞれひとつずつ英語で作成しなさい。(答え：それぞれ "Where are you from?" "Where is your house?" など)

【解説】

(5) は私のオリジナルではなく、定期考査問題例に挙げてあったものであることを断っておく。これは行間を読ませる設問である。

(6) は、人物の指示方法の逸脱の効果を尋ねる設問である。通常の指示方法であれば、文章の最初で森に入ってきた男が仏陀であることを明かすのであるが、この LESSON では Part 2 の途中になって初めてこのことが読者に明かされている(ただし、こ

の教材の扉のページを読めばその男が仏陀であると分かってしまうが)。

(7) は音の集中的反復を意識させる問いである。意図的か偶然か分からないが、w音が集中的に反復されているのと、"walk" と "talk" が脚韻を踏んでいる。このように音と意味を同時に考えさせる設問も、文学教材の指導には取り入れていくべきではなからうか。

(8) は、状況を考えながら野ウサギと仏陀の発話を想像させる設問である。下線部 (e) ではどのような会話がなされたのかは明かされていない。この箇所の設問をより高度にしたければ、2人の会話全体を作成させる形にすればよいであろう。

2.3 Part 3

The full moon shone above them.

The hare looked kindly at her new friend.

"You must be very hungry," she said.

^(f)The man smiled. "I am very hungry."

"Please do me the honor of eating me for your supper. ^(g)I am plump and young enough not to be (). I'll build a fire so you can cook me."

Without giving the man a chance to say no, the hare zigzagged about to gather firewood. She built the fire, and when the fire burned strongly, she bowed low. "Thank you for your company, my friend. ^(h)Enjoy your meal!" With that, the hare jumped into the fire.

【設問】

- (9) 下線部 (f) でなぜ男性は笑ったと考えられるか、具体的に日本語で答えなさい。(答え：空腹であることを指摘されて気恥ずかしかったから、など)
- (10) 下線部 (g) で () 内に、"enough" と脚韻を踏み、かつ t で始まる形容詞を入れなさい。(答え：tough)
- (11) 下線部 (h) にエクスクラメーション・マーク (!) があるが、(ア) 野ウサギはどのような口調でこの台詞を述べたと考えられるか、日本語で答えなさい。また、(イ) どのような気持ちで自分を食事として差し出していると考えられるか、日本語で答えなさい。(答え：(ア) はきはきとした口調で

述べている, など. (イ) 自分を食事として差し出すことに何の迷いもないという気持ち, ただ純粋に友達の助けになりたいという気持ち, など)

【解説】

(9) は行間を読む問題である. (5) と比べると, 答えの可能性としてさまざまなものが考えられる. この設問を通して, 学習者がこの状況での仏陀の心理をどのように考えているかを知ることができよう.

(10) は (7) と同様に音の集中的反復を意識させる設問である.

(11) は, 登場人物の声と心情を推測させる設問である. 単に命令文という文法上の理解にとどまらず, これらの点を推察させることで, この台詞が発せられた状況への理解を一層深めたい.

2.4 Part 4

But the Buddha's hand shot out and caught the hare by her long ears. Once, twice, he swung her around and threw her into the night sky.

Far below, she heard the Buddha's voice, "A creature as kind as you ^(j)shall not ^(k)die! ^(l)I want everyone in the world to look up at night and see my friend, the Hare-in-the-Moon, and to remember her kindness to a hungry, lost traveler!"

And so the moon, to this very day, glows around the figure of the ^(m)kindly hare. Wanderers the world over find hope and encouragement when they see her there.

【設問】

- (12) 下線部 (i) の語は, 普通は主語が I や we 以外では失礼な表現となるため, あまり使用されない. なぜここでの shall の使用は適切となっているのか, 日本語で答えなさい. (答え: 話者である仏陀が神的存在であるから, など.)
- (13) 下線部 (j) と下線部 (k) にエクスクラメーション・マークがあるのはなぜか, 日本語で答えなさい. (答え: 地上から月に届くように仏陀が大きな声で話しているから)
- (14) 下線部 (k) はこれまでの会話文と違って著しく

長い発話となっている. 物語にどのような効果を与えているか, 日本語で答えなさい. (答え: 物語のクライマックス感を高めている, など)

- (15) 下線部 (l) の語を, 普通の表現に直しなさい. (答え: kind)
- (16) 下線部 (i) や (l) など, 古風な表現を使用すると, 物語にどのような効果が生まれるか, 日本語で答えなさい. (答え: 厳かな感じ, など)
- (17) 最後の段落はこれまでの段落と動詞の時制が異なっている. (ア) どのように変化しており, (イ) なぜそのような変化しているのか, 日本語で説明しなさい. (答え: (ア) 過去形から現在形に変化している. (イ) ここまでは過去の具体的な物語内容を述べていたため過去形が使われていたが, 最後の段落ではその物語を受けての現在の風習について述べているから, など)

【解説】

(12) は, 登場人物の関係を理解させるための設問であると同時に, 学習者がこの "shall" を過剰産出しないように, しっかりと理解させるための設問でもある.

(13) は, その台詞が発せられたときの声を考えさせる設問である.

(14) は, これまでの物語のパターンから逸脱する言語表現の効果を理解させる設問である.

(15) と (16) は, 古風な表現の使用効果を考えさせる設問である. ドラゴン・クエストなどのロール・プレイング TV ゲームを想起させるとよいであろう (これらの中でも古風な日本語が多く用いられ, 物語世界の厳粛さを高めている).

(17) は, (14) と同様にこれまでの物語パターンからの逸脱に注目させると同時に, 昔話の終結部の典型的構造を意識させる設問である.

2.5 全体

【設問】

- (18) タイトルにある "The Hare's Gift" とは何か, 日本語で答えなさい. (答え: 野ウサギの優しい心, など)
- (19) Part 1 と Part 3 で "the full moon" に言及されているのはなぜか, 物語の結末と関連づけながら

日本語で意見を述べなさい。(答え：物語が月と関わりを持つことを暗示している, など)

【解説】

(18) はタイトルの意味を考えさせる設問である。さらにサブタイトルや別のタイトルを考えさせてもよいであろう。

(19) は伏線について考えさせる設問である。他の気象状況（雨や曇で月が見えない状況, 三日月など他の形状の月の状況, など）であった場合と比較して, なぜ作者は満月という状況を選んだのかを考えさせたい。

3. おわりに

現在, 文学教材は多読用教材として英語教育の中で再評価されつつあり, テキストを大まかに読むことに注目が集まっている。しかし, テキストの細かい部分には, 文学というジャンルを特徴づけるさまざまな言語的特徴が含まれている。多読活動や従来の設問（整序問題や発音問題など）に加えて, 文学というジャンルを意識させる設問を取り入れることで, これまでと違った形で文学教材, ひいては英語の面白さを学習者に伝えることができるのではないだろうか。

Part 1

Once, long ago, the full moon was looking into the clearing of a forest. A lonely brown hare was crouching near a rock. Her young had long since left the nest. She nibbled a small piece of bark.

Suddenly, her ears pricked up.

A man stumbled into the clearing. He fell down and lay there on his face.

The hare sniffed the air, then stepped forward.

The man's eyes fastened on the hare.

"You are ill and tired," the hare said.

"I am tired, my friend."

Part 2

The hare hopped very near. "Put your hand in my fur." The man rested his thin hand on the hare's back.

The hare felt the man's kindness. But she didn't know

Help

hare [hɛə] 野ウサギ, clearing [kɪlɪərɪŋ] n. 空き地, crouch [krəʊtʃ] うずくまる, nest [nest] 巣, nibble(d) [nɪbl(d)] ~を少しずつ食べる, bark [bɑ:k] 木の皮, prick(ed) [prɪk(t)] ぴんと立つ, stumble(d) [stʌmbl(d)] よろめく, sniff(ed) [snɪf(t)] ~のにおいをかぐ, forward [fɔ:rwəd] 前方に, fasten(ed) [fæsn(t)] 注がれる, ● hop(ped) [hɒp(t)] ひよんと跳ぶ, fur [fɜ:ɹ] (動物の)毛, thin [θɪn] やせた, kindness [kaɪndnəs] やさしさ。

1. long ago ずっと昔, 1. look into ~の中をのぞく, 3. long since ずっと前に, 5. prick up (動物の耳が)ぴんと立つ, 6. stumble into ~によろめきながら入る, 6-7. lie on one's face うつ伏せに横たわる, 9. fasten on (視線が)~にじっと注がれる, 12. put ~ in ~を~に入れる, 13. rest ~ on ~を~に載せる。

that he was really the Buddha.

"You have lost your way," she said.

"I have lost my way."

"May I guide you to the edge of the forest?"

"I've no money to pay you," the man said.

The hare bowed. "I don't need any money. I just want to walk and talk with you."

The man stood slowly. The hare guided the man through the woods to an open plain. All along the way, they talked quietly.



Help

Buddha [bʊdʒə] 仏陀 (仏教の創始), edge [ɛdʒ] 端, はずれ, bow(ed) [baʊ(d)] おじぎをする, plain [pleɪn] 平地。

2. lose one's way 道に迷う, 9. all along the way 道中ずっと。